



迎春



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

年頭の ごあいさつ



公益財団法人秋田県消防協会
会長 中田 潤



平成二八年の
新春を迎え、県
民の皆様並びに
消防職・団員は
じめ消防関係者
の皆様と謹んでごあいさつを申し上
げます。

消防職・団員及び消防関係者の皆
様には、日ごろから地域住民の生
命・財産をあらゆる災害から守るた
め、日夜献身的に活動され、様々な
努力をなされておりますことに心か
ら感謝と敬意を表します。

昨年を振り返ってみますと、七月
四日大館市民文化会館において開催
しました第六八回秋田県消防大会に
は、県内各地域から七五〇名を超え
る消防職・団員が参加、今回で一
回目となる意見発表会では、各支部
から選出された消防団歴三一年のベ
テランから三年の団員まで、それぞ
れこれからの消防活動に対する提言

平成二十七年全国統一防火標語 無防備な 心に火災が かくれんぼ

等を発表しました。

九月四日には、第五二回秋田県消
防操法大会が行われ、各支部の予選
を勝ち抜いて出場した消防団は、日
ごろの鍛錬の成果を十分に発揮しま
した。

一〇月に入り、一五日には第二二
回全国女性消防操法大会が開催さ
れ、本県代表として大仙市女性消防
隊が出場しました。平成二五年の前
回出場時より総合得点で上回り、順
位でも一八位と大いに健闘しまし
た。次回の全国大会出場を目指し、
新たに準備を進めている消防団もあ
ると伺っており、本県消防操法技術
のレベルアップに繋がるものと大い
に期待されます。

また、二九日には第二一回全国女
性消防団員活性化大会が佐賀市にお
いて開催され、
本県からも一
名の女性消防団
員が参加しまし
た。今後の活動
に繋げていく大
変有意義な大会
であったと思
います。



さて、本県における昨年の災害の
発生状況がありますが、火災は、皆
様の懸命なるご尽力にも関わらず、
後を絶ちません。四〇名の方が尊
命を失っております。また、七月か
ら一月にかけての大雨や暴風等に
より建物などに大きな被害をもち
ました。

こうした中、安心・安全に寄せる
地域住民の期待は益々大きくなつて
おり、私たち消防人は、その負託に
応えられるよう、なお一層の精進を
重ねていく必要があると決意を新た
にしている
ところ
です。



団員の減
少のほか高
齢化やサラ
リーマン化
の進行など
消防団を取
り巻く厳し
い環境の中
で、協会と
いたしましても微力ながら、各事業
に全力で取り組んでまいりますの
で、皆様のご支援、ご協力を賜りま
すようお願い致します。

結びに、県民の皆様並びに消防関
係者のご健勝と、本年が厄災のない
良い年でありますようお願い申し上
げまして、年頭のごあいさつとい
たします。

平成二八年の 新春を迎えて



秋田県知事
佐竹 敬久



平成二八年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様に謹んで新年のお

慶びを申し上げます。

皆様には、平素から消防行政の円滑な推進のために格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の国内での主な災害を振り返りますと五月は「鹿児島県口永良部島の噴火」、九月には北関東を中心とした「関東・東北豪雨」などが発生し、多大な被害が生じました。

心からお見舞い申し上げます。

本県においても、二月に県北部での豪雪、また、春から秋にかけては大雨や突風による被害が局地的に発生したほか、住宅等の火災も後を絶たず、五月には湯沢市相川で一家七名が犠牲となる痛ましい火災が発生しました。

県としましては、消防団員、消防

職員の皆様がこのような多種多様な災害に的確に対処し、県民生活の生命と財産を守り、安心して安全に暮らせる生活を維持していくために、各市町村、消防本部との連携をより強固にし、消防防災体制の更なる向上を始め、消防団や自主防災組織の強化など、総合的な防災力の向上に取り組んでまいります。

消防関係各位におかれましては、地域住民の安心・安全を確保するため、引き続きご尽力、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のますますのご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年の ごあいさつ



秋田県議会議長
渋谷 正敏



新春を迎え、謹んで御挨拶申し上げます。

消防関係者の皆様におかれましては、

輝かしい新春を健やかに

迎えることと心からお慶び申し上げます。

皆様には、常日ごろより防災の最前線にあつて、県民の生命と財産を守るため、昼夜を分かたず献身的に御尽力いただいていることに對し、県議会を代表いたしまして心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

県内では、ここ五年ほど連続して豪雪に見舞われ、大きな被害が出ております。このほか昨年は、大雨や暴風などによる災害が発生しましたが、幸いにして大規模な人的被害には至りませんでした。

一方、国内を見てみますと、至る所で発生する地震、急激に発達した雨雲による竜巻、記録的な豪雨による大規模な浸水被害、火山噴火による被害など、記録的、突発的な災害により甚大な被害が発生しております。その爪痕は未だ深く残っており、一刻も早い復旧が望まれるところであります。

今日、安全・安心の担い手として、消防の果たす役割はますます大きくなつており、消防本部や消防団を中心に地域が主体となつた消防防災体制をより一層強化しなければなりません。また、いつ起こるか予測ので

きない災害に備え、県民一人ひとりが安心して暮らせる地域づくりを指さなければなりません。

消防団は、平常時においても地域に密着した活動を行う地域・コミュニティの核として、また、地域消防力の中核として、更なる充実強化を図る必要があります。

また、県内各地域に自主防災組織が結成されて来ておりますが、大規模災害時に自主的な防災活動を行うことは大変重要であり、今後も自主防災組織の育成強化に努めなくてはなりません。

皆様におかれましては、地域住民が安心して暮らせる安全な地域づくりのため、一層の御精進と御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様のますますの御健勝と、本年が災害のない平穏な年でありますことを御祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



年頭のごあいさつ



秋田県市長会会長
秋田市長
穂積 志



全県消防関係者の皆様に、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、あらゆる災害から県民の生命、身体及び財産を守るという崇高な使命のもと、郷土愛護の精神と旺盛な責任感を持って、日夜、消防技術力の向上と任務遂行にご尽力されておられますことに対して、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の国内の災害状況を顧みますと、爆弾低気圧による大雪や暴風雨、台風被害や全国で活発化している火山活動等の自然災害、火災や事故等により、各地に大きな被害が発生しており、その態様も多様化、大規模化しています。

本県においても七月二五日の大雨による大仙市斉内川の堤防の決壊等により、避難指示及び避難勧告が出されましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。改めて自然の猛

威と災害対応力の重要性を認識したところ です。

その一方で、わが国は本格的な高齢化社会を迎え、特に秋田県は県民の三〇パーセント以上が高齢者であり、高齢者の独居世帯も増加傾向にあります。また、都市化の進展や核家族化、ライフスタイルの多様ななどにより、人間関係の希薄化や地域社会の崩壊が憂慮されるようになってまいりました。

時々刻々と変化する社会・自然環境の中で、地域防災力の向上は、突然発生する大規模災害による被害を抑止するとともに、その拡大を軽減し、地域社会の速やかな復旧を促すことにつながります。

そうした意味から、消防活動はもろろんのこと、危険物の指導管理や、地域住民への防火・防災意識の啓発活動などに力を尽くしておられる皆様の存在は、地域住民にとりましては誠に心強く、寄せられる期待は、ますます大きくなってまいります。

どうか皆様におかれましては、地域の安全と安心をより確かなものとするため、一層のご精進とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が災害のない穏やかな年になりますようお願い、関係各位のご健勝とご発展を祈念いたします。ごあいさつといたします。

平成二八年の新春を迎えて



秋田県消防長会
会長 森合 和美



平成二八年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日頃から各種災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため、日夜献身的にご尽力されておられますことに、改めて感謝と敬意を表します。

昨年の消防長会各種事業に対しても、開催地の消防関係者の皆様から特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

事業の中でも特に、秋田県更には東北代表として全国消防職員意見発表会に出席した大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の女性職員が見事最優秀賞を受章するなど、明るいニュースがありました。

一方で国内において、自然災害が頻発した年でもありました。四月には、ネパール地震災害が発生し、国際緊急援助隊の救助チームの一員として秋田県から初めて職員一名を海外へ派遣したところであります。

九月には、茨城県常総市で川の堤防が決壊し栃木県や宮城県でも大規模な浸水被害や多くの犠牲者を出した関東・東北豪雨災害では、緊急消防援助隊が地元消防機関と連携して懸命な救助活動を行い、孤立した多くの方々を救出しました。

このように国境、県境を越えた応援体制の強化を図らなければならないうと強く感じたところでもあります。そういう観点からも、いざという時の地域防災力が、最も即効性を発揮します。地域防災力の中核となる消防団を始め、自主防災組織など多様な主体による地域の総合的な防災力を高めていかなければなりません。

高齢者人口や災害弱者の増加は一層顕著なものとなっています。消防行政は、災害の未然防止、人命の安全確保などの目的を達成するため、これら社会環境の変化に応じたきめ細かな対応が求められており、地域社会における消防の役割は誠に大きいものがあります。

従いまして、行政の高度化、専門化に対応できる消防、防災のエキスパートとしてより一層資質の向上を図るべく、取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、皆様方の益々のご健勝とご多幸、そして何よりも平穏な一年であることをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



消防団員の入団促進について討議

平成二七年度全県消防団長研修会

平成二七年度全県消防団長研修会が二月一日(木)午後二時から、秋田市中通「イヤタカ」で消防団長など六〇名が参加し、開催されました。

研修会は、大館市消防本部による活動事例の報告、「心理的応急処置(PFA)習得と消防団を中核とした合同訓練」についての講演、そして、「消防団員の入団促進」をテーマに課題討議・意見交換を行いました。

活動事例

「大館市消防団充実強化に係る取組事例」

発表者：大館市消防本部

主査 石戸谷 友規

■取組事例

○看護福祉大学生による機能別消防団

東日本大震災を契機に、避難所運営や後方支援の活動充実を目的として、止血等の応急手当の仕方を講義で実施する秋田看護福祉大学に働きかけ創設。現在男二人、女三八人在籍、任期は、大学在学期間。卒業後、引き続き団員になることも可能。



○大館市消防団応援の店

消防団員の満足度の向上、新規消防団員の確保、そして、地域活性化を目的に、平成二七年二月から開始した。消防団員の身分証明書を提示することにより、協賛店から独自のサービスが受けられる。東北では、山形県上山市に次いで二番目。現在、協賛店は五店舗。

○成人式会場での団員募集PR

八月一五日に開催された、大館市成人式に大館市消防本部マスコットキャラ「ハツチ君」



の着ぐるみを着て、愛嬌を振りまきながら団員募集のパンフレットを配布した。今後も継続する予定。



○学生消防団活動認証制度

機能別消防団員として、当市の消防団活動に従事した大学生の就職活動を支援するため、要綱を制定し、実施することにした。実際の運用にあたっては、関係機関と協議の上、市長から協力を依頼する予定。

○市公用車による消防団員募集PR

市公用車一〇〇台に「消防団員募集ステッカー」を貼り付け、市民に広くPRしている。

講演

『心理的応急処置(PFA)習得と消防団を中核とした合同訓練について』

講師：奈良市消防団 西部方面隊 副方面隊長 田村英樹氏

奈良市消防局 総務課主幹 南 尊文氏

■講演の内容

- 奈良市消防団の現況
- 消防団員数、消防団員募集、団員の出勤状況、消防団員の処遇
- 奈良市消防団の活動
- 災害時と平常時の活動
- PFA研修
- 奈良市消防団・DMAT・DPAT合同訓練



課題討議・意見交換

「消防団員の入団促進」について

進行：秋田県総合防災課

副主幹 堀井 正人

■消防団員の定年制

一般団員では殆どの消防団が六五歳としている。

由利本荘市では、定年前に若い人に譲るケースが多い、又、仙北市は今年四月一日から七〇歳に延長した

が、未だ団員確保には結びついていない。鹿角市では、消防団協力事業所から定年を延長するよう依頼があるなどの意見がありました。

■機別消防団員制度

現在、機別消防団員を導入しているのは八消防団

- (鹿角市・大館市・能代市・三種町)
- ・秋田市・由利本荘市・にかほ市・仙北市)

導入を検討しているのは五消防団 (北秋田市・八峰町・男鹿市・五城目町・井川町)

OB団員の採用を検討している消防団が多い中で、大館市では郵便局員の加入を検討しているとの発言もありました。



■任務・条约定数

機別消防団員の主な任務(活動の時間帯など)と訓練等の実施状況について説明がありました。現在唯一大館市が機別消防団員の定数を条例で定めているということでした。

■処遇(服制)

三種町では、災害時の対応として機別団員にヘルメットを貸与(今後、半纏を貸与したい)、また、鹿角市では消防団協力事業所の団員は、事業所の作業服で出勤しているとの紹介がありました。

■加入促進事例

上小阿仁村では、各地域の青年会等を通じて入団の促進を図っているとの意見がありました。

消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - ジェットホース
 - 消防被服全般
 - 消防災報知器各種
 - 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

消防団員入団促進 キャンペーン実施中

一月から三月まで

消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員数は年々減少

本県の消防団員数は、昭和三十一年には三万六千人が在籍していましたが、その後、過疎化・少子高齢化の進行、産業・就業構造の変化等に伴い、年々減少し続け、平成二十七年には半数を割り込み約一万七千四百人となっております。地域における消防防災力の低下が懸念されています。

入団促進重点推進事項

(一) 被雇用者の入団促進

現在の消防団員の七〇%超が、会社員などの被雇用者です。消防団活動には事業所の協力が不可欠となっており、より一層、事業所との連携強化を図って、従業員の入団促進を進めていく必要があります。

(二) 女性の入団促進

消防団員数が減少している中、女性消防団員は増加傾向にあり、本県の女性消防団員数は、平成二十七年一月現在、三六一名の方が在籍しています。女性消防団員の活動は、火災予防広報、一般家庭や高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及啓発活動など多岐にわたっています。

(三) 大学生等の入団促進

消防団員の高齢化が進む中、若年層の消防団員確保が大きな課題となっております。大学生等(専門学校

生を含む)の若い力を、消防団活動で発揮していただくことは大変有意義なことです。本県では、二六人(平成二六年)の大学生等が消防団で活躍しています。

多くの方の消防団入団を期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。是非、多くの皆様に消防団活動に対する理解を深めていただき、一人でも多くの方に消防団活動に参加いただけることを期待しています。

さあ、自分の街のこと。

あなたにも
できることがあります。

消防団員募集

守りたい未来、
つながる未来がある。

消防庁

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

『東成瀬村消防団でS-K-Y-T (消防団の危険予知訓練実施)』

東成瀬村消防団

消防団は地域住民の安全を第一線で守る、地域に欠かすことの出来ない存在であり、その活動は危険な作業、行動と常に向き合っており、現場や訓練などの際に団員自身が被災する危険性が極めて高いのが現実です。そうした場面に遭遇した際に、全く予備知識もなく、或いは、危険想定もせずに現場対応することは、取り返しのつかない被災に繋がることもあり得ます。

これらに対応するには、現場に潜む危険(不安全な状態)を見抜く力を養い、基本(安全な行動)を守る意識を強く植え付けるということが重要であることを踏



まえ、このS-K-Y-T(消防団の危険予知訓練)を、一月八日東成瀬村消防団員が受講しました。

訓練では、講師に消防団員等公務災害補償等共済基金から三名お招きし、消防団の活動場面のイラストを用いて、この場面にはどんな危険が潜んでいるか、どうすればそれらを避けられるのか、といったことを毎に意見を出してまとめました。また、行動の一つ一つをみんなで共有するため、基本的な指差し確認など、大きな声を出して確認しあう指差し唱和などしました。参加団員は積極的に危険な状況、環境などを確認・認識し約三時間の講習を終えました。



【情報提供】湯沢市雄勝郡支部

新消防団長紹介

大瀧村消防団



谷口良一 (五九歳) 昭和三十二年二月一六日生 農業

昭和五三年一月二日 入団
平成一七年一月一日 分団長
平成二五年一月一日 副団長
平成二八年一月一日 団長



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

Table with 7 columns: Year, 12月, 累計, 12月, 累計, 年計, 12月, 累計. Rows include 建物, 林野, 車輦, その他, 合計, 死者数, 負傷者数.

公益財団法人秋田県消防協会



List of board members: 会長 中田潤, 副会長 草薨忠誠, 理事 高橋博英, 近野宗一, 黒澤文男, 周防彦宗, 齊藤和雄, 佐々木一義, 森合和美, 三浦肇, 成田俊昭, 佐々木謙護, 佐々木謙吉, 高橋尚文, 石山和美.